

II 畜産物の価格安定業務

1 指定乳製品

(1) 概況

ア 乳用牛の飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は、昭和38年の41万7,600戸をピークに、その後毎年減少し、平成19年2月1日現在では前年に比べて4.5%減の25.4千戸となっている。近年における戸数の減少は、経営者の高齢化、後継者不足等に加え、酪農情勢における厳しさが増す中で、小規模層を中心に、離農するケースが増えたことが主因と考えられる。

次に、飼養頭数についてみると、飼養戸数の減少を反映して、前年に比べて2.7%減の159万2千頭となった。なお、飼養戸数の減少と規模拡大傾向を反映して、1戸当たりの飼養頭数は、前年の61.5頭から62.7頭へと拡大した（第5表参照）。

第5表 乳用牛の飼養戸数・飼養頭数

区分 調査年月日	飼養戸数		飼養頭数		1戸当たりの飼養頭数	
	戸数 (千戸)	前年比 (%)	頭数 (千頭)	前年比 (%)	頭数 (頭)	前年比 (%)
18. 2. 1	26.6	96.0	1,636	98.8	61.5	103.0
19. 2. 1	25.4	95.5	1,592	97.3	62.7	102.0

資料：農林水産省「畜産統計」

イ 生乳の需給

18年度の生乳生産は、指定生乳生産者団体による減産型の計画生産の下、北海道、都府県ともに前年をやや下回ったことから、前年度比97.5%となった。

次に、牛乳等向け生乳処理量についてみると、大部分を占める牛乳の需要が年度を通じて不調であったことから、同97.5%と前年度をやや下回った（第6表参照）。

第6表 生乳生産と用途別処理量

(単位：千ト、%)

区分 年度	生乳生産量		処 理 内 訳					
			牛乳等向け		乳製品向け		その他向け	
	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比
14	8,380	100.8	5,046	102.9	3,245	97.9	89	96.2
15	8,405	100.3	5,018	99.4	3,302	101.7	85	96.4
16	8,285	98.6	4,902	97.7	3,301	100.0	81	95.3
17	8,293	100.1	4,738	96.7	3,472	105.2	82	100.6
18	8,088	97.5	4,619	97.5	3,389	97.6	80	97.7

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

ウ 指定乳製品の生産量

生乳生産量の減少に伴い、18年度のバターの生産量は、前年度比91.3%とかなりの程度減少し、脱脂粉乳の生産量も同93.3%とかなりの程度減少した。一方、全脂加糖れん乳は同111.8%とかなり大きく増加したが、脱脂加糖れん乳は同90.0%とかなりの程度減少した（第7表参照）。

第7表 指定乳製品の生産量

（単位：トン、%）

区分 年度	バター		脱脂粉乳		全脂加糖れん乳		脱脂加糖れん乳	
	数量	対前年度比	数量	対前年度比	数量	対前年度比	数量	対前年度比
14	79,598	95.7	178,905	100.6	31,911	100.0	5,395	92.9
15	81,566	102.5	184,372	103.1	33,106	103.7	6,047	112.1
16	80,555	98.8	182,656	99.1	35,253	106.5	5,933	98.1
17	85,467	106.1	189,737	103.9	32,282	91.6	6,723	113.3
18	78,001	91.3	177,034	93.3	36,095	111.8	6,053	90.0

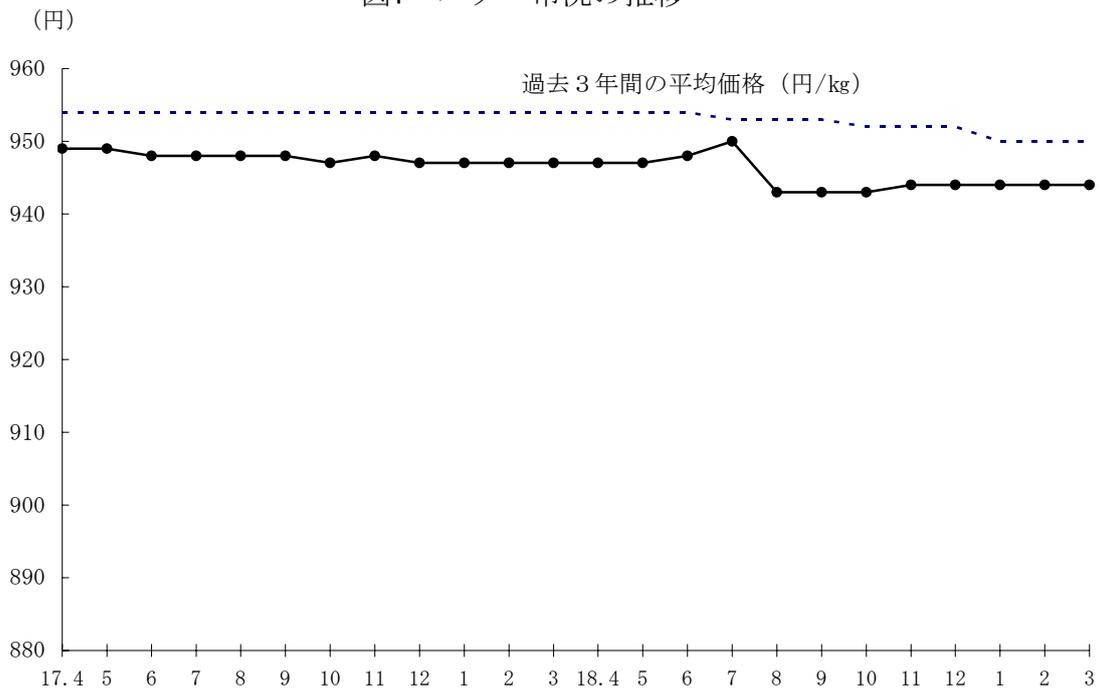
資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

エ 指定乳製品の価格動向

バターの市況（大口需要者向け価格：農林水産省牛乳乳製品課調べ、以下同じ）は、生産量が減少する中で需要量の増加に対しては在庫の取り崩しが行われたこと等から、年度を通じて前年をわずかに下回って推移し、年度末においては944円/kg（前年度比99.7%）となった。

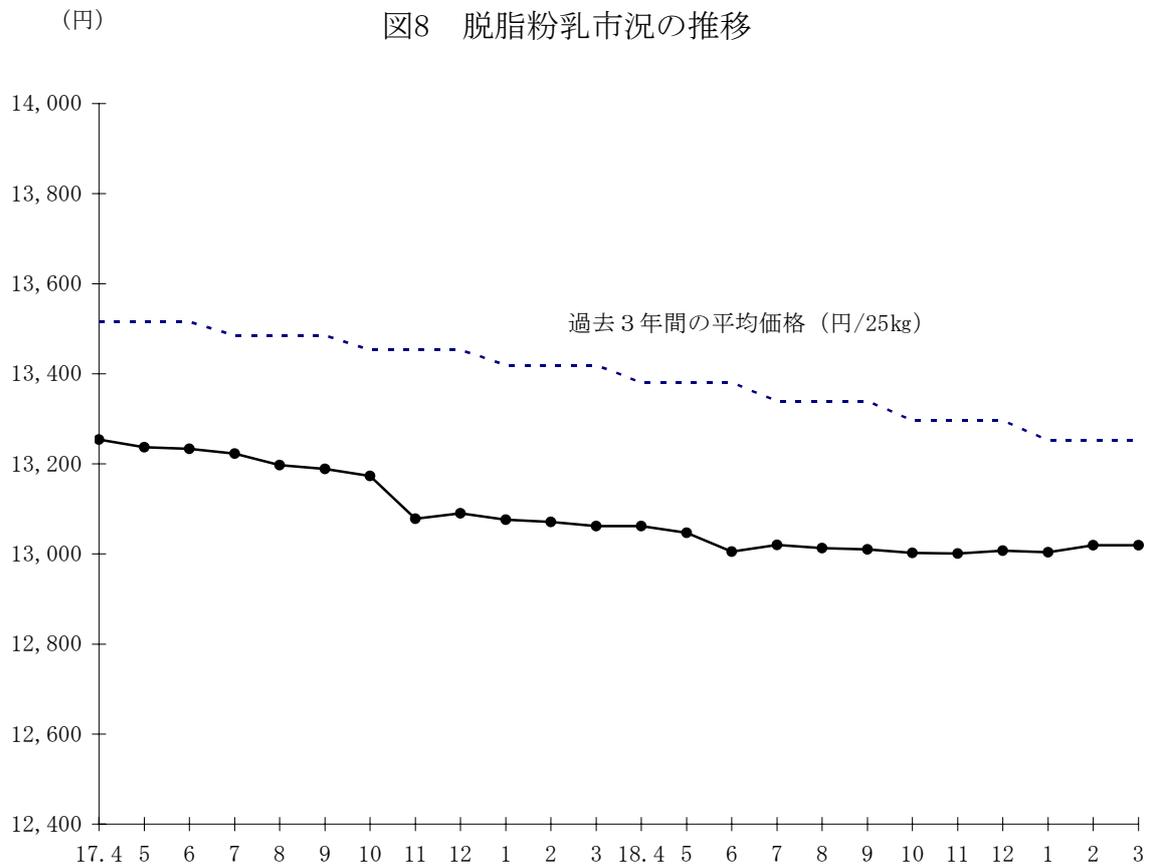
脱脂粉乳の市況も、需給の緩和状況を背景に、年度を通じて前年をわずかに下回って推移し、年度末においては13,019円/25kg（同99.7%）となった（図7、図8参照）。

図7 バター市況の推移



注：価格は、消費税込みの価格である。以下同じ。

図8 脱脂粉乳市況の推移



(2) 指定乳製品等の輸入及び売渡し

バターについては、17年度のカレントアクセス分として18年2月及び3月に輸入入札した現品について、同年5月から12月にかけて売り渡すとともに、18年度のカレントアクセス分として18年11月に輸入入札した現品について、18年12月から19年3月にかけて売り渡した。

なお、18年11月の輸入入札の一部と19年2月、3月に輸入入札した現品については、売渡しが19年度にずれ込んだ。(第8表～第10表参照)

一方、脱脂粉乳については、17年度のカレントアクセス分として18年2月及び3月に輸入入札した現品について、同年5月から10月にかけて売り渡した。

バター・脱脂粉乳以外のカレントアクセス分については、同時契約による輸入業務委託・売渡入札方式(SBS)によりホエイ及び調製ホエイ4,399トン、デイリースプレッド2,001トンの輸入業務委託・売渡契約を締結したが、このうち、ホエイ及び調製ホエイ2,271トンとデイリースプレッド1,982トンの売買が19年度にずれ込んだ。(第11表、第12表参照)

また、機構以外の者に係る指定乳製品等の輸入(TEによる輸入)については、買入れ・売戻し件数は485件で、その数量は349トンとなった。

第 8 表 指定乳製品等の輸入入札状況

入札年月日	品目	輸入入札数量	落札数量	検収数量	備 考
18.02.22	バター	3,500 トン	2,371 トン	2,333 トン	17 年度カレントアクセス分
18.02.23	脱脂粉乳	3,000 トン	3,000 トン	2,990 トン	同上
18.03.16	バター	500 トン	400 トン	397 トン	同上
18.03.16	脱脂粉乳	1,000 トン	1,000 トン	299 トン	同上
18.11.08	バター	2,000 トン	1,569 トン	945 トン	18 年度カレントアクセス分
19.02.07	バター	5,546 トン	4,529 トン	—	同上
19.03.13	バター	581 トン	581 トン	—	同上

注：18.03.16 の脱脂粉乳のうち 700 トンについては、不適格品により契約を解除した。

第 9 表 指定乳製品等の売渡入札状況

入札年月日	品目	売渡入札数量	落札数量	備 考
18.05.16	バター	190 トン	190 トン	17 年度カレントアクセス分
18.05.16	脱脂粉乳	498 トン	48 トン	同上
18.05.23	脱脂粉乳	450 トン	0 トン	同上
18.05.30	脱脂粉乳	450 トン	366 トン	同上
18.06.06	バター	42 トン	42 トン	同上
18.06.06	脱脂粉乳	637 トン	577 トン	同上
18.07.12	バター	16 トン	16 トン	同上
18.07.12	脱脂粉乳	807 トン	400 トン	同上
18.08.09	バター	223 トン	223 トン	同上
18.08.09	脱脂粉乳	1,091 トン	661 トン	同上
18.09.13	バター	597 トン	597 トン	同上
18.09.13	脱脂粉乳	729 トン	0 トン	同上
18.10.19	バター	194 トン	194 トン	同上
18.10.19	脱脂粉乳	1,237 トン	1,237 トン	同上
18.11.09	バター	74 トン	74 トン	同上
18.12.12	バター	818 トン	818 トン	17 年度, 18 年度カレントアクセス分
19.01.11	バター	601 トン	515 トン	17 年度カレントアクセス分
19.02.14	バター	299 トン	299 トン	17 年度, 18 年度カレントアクセス分
19.03.15	バター	460 トン	460 トン	18 年度カレントアクセス分

第 10 表 バター・脱脂粉乳の売買状況

品目	期首在庫	買入数量	売渡数量	期末在庫
バター	0 トン	3,675 トン	3,428 トン	247 トン
脱脂粉乳	0 トン	3,289 トン	3,289 トン	0 トン

第 11 表 ホエイ及び調製ホエイ（S B S 方式）の売買状況

入札年月日	入札数量	落札数量	売買数量	備考
18.03.23	2,622 トン	2,185 トン	2,167 トン	17 年度カレントアクセス分
18.08.30	2,000 トン	1,205 トン	1,196 トン	18 年度カレントアクセス分
18.10.25	3,295 トン	2,408 トン	916 トン	同上
19.03.01	887 トン	786 トン	—	同上
計	8,804 トン	6,584 トン	4,279 トン	

第 12 表 デイリースプレッド（S B S 方式）の売買状況

入札年月日	入札数量	落札数量	売買数量	備考
18.03.16	2,000 トン	1,520 トン	1,516 トン	17 年度カレントアクセス分
18.03.30	243 トン	243 トン	242 トン	17 年度, 18 年度カレントアクセス分
18.12.13	2,000 トン	2,000 トン	18 トン	18 年度カレントアクセス分
計	4,243 トン	3,763 トン	1,776 トン	

2 指定食肉

(1) 牛肉

東京及び大阪の中央卸売市場における牛枝肉省令規格(去勢牛「B-2」及び「B-3」)の加重平均卸売価格は、16年度は、年間を通じた米国産牛肉の輸入停止の影響もあり、前年度より15.5%上昇した。

17年度は引き続き堅調に推移し、前年度より6.4%上昇し、1,336円となった。

18年度は、前年度が高水準であったこと等から、前年度より3.3%低下したが、年度を通じて安定基準価格を上回って推移したことから機構による買入れ等の措置には至らなかった。

第13表 牛枝肉卸売価格の推移

区分 年度・月	省令価格(去勢牛肉「B-3」及び「B-2」)	
	東京・大阪加重平均	
	価格 (円/kg)	対前年比 (%)
平成14年度	975	128.6
15	1,087	111.5
16	1,256	115.5
17	1,336	106.4
18	1,292	96.7
18年4月	1,393	102.6
5月	1,305	99.0
6月	1,246	99.9
7月	1,238	95.3
8月	1,236	95.8
9月	1,285	95.0
10月	1,279	96.5
11月	1,340	99.8
12月	1,365	95.2
19年1月	1,256	93.2
2月	1,262	96.6
3月	1,239	90.2

資料：農林水産省「食肉流通統計」

注：消費税込みの価格である。

(2) 豚肉

東京及び大阪の中央卸売市場における豚枝肉省令規格(「上」以上)の加重平均卸売価格は、16年度は、米国産牛肉の輸入停止措置の影響等により堅調に推移し、前年度より7.2%上昇した。

17年度は、前年度より0.2%低下し473円となった。

18年度は、前年度より1.3%上昇し479円となり、年度を通じて安定基準価格を上回って推移したことから、機構による買入れ等の措置には至らなかった。

第 14 表 豚枝肉卸売価格の推移

区分 年度・月	省令規格	
	東京・大阪加重平均	
	価 格 (円/k g)	対前年比 (%)
平成14年度	469	94.0
15	442	94.2
16	474	107.2
17	473	99.8
18	479	101.3
18年4月	457	105.3
5月	478	91.0
6月	571	107.9
7月	552	103.8
8月	516	103.6
9月	496	97.1
10月	408	97.4
11月	446	110.1
12月	488	97.8
19年1月	416	93.1
2月	449	98.9
3月	478	110.4

資料：農林水産省「食肉流通統計」

注：消費税込みの価格である。

3 鶏卵

鶏卵の平均卸売価格（東京、M規格）は、16年度は、前年度の卸売価格が記録的に低水準で推移したこと等から生産抑制が進み、前年度より46.4%値上がりした。

17年度は、国内生産量及び輸入量が増加傾向にあったことから、前年度より9.3%値下がりした。

18年度は、前年度より1.2%値下がりしたが、機構による調整保管等の措置には至らなかった。

なお、(社)全国鶏卵価格安定基金及び(社)全日本卵価安定基金による価格差補てん事業では、18年度は7月、19年1月に標準取引価格が補てん基準価格を下回り、両基金から総額21億5,785万円の補てん金が事業参加生産者に交付された。

第15表 鶏卵価格の推移（東京、M規格）

区分 月	卸売価格				鶏卵価格安定制度の発動状況			
	17年度		18年度		17年度		18年度	
	東京「M」 (円/kg)	対前年比 (%)	東京「M」 (円/kg)	対前年比 (%)	標準取引価格 (円/kg)	補てん単価 (円/kg)	標準取引価格 (円/kg)	補てん単価 (円/kg)
4月	239	166.0	184	77.0	223.77	0	174.22	0
5月	222	129.8	184	82.9	212.67	0	173.39	0
6月	193	108.4	171	88.6	188.22	0	161.69	0
7月	156	106.1	154	98.7	160.33	2	152.22	8
8月	145	97.3	158	109.0	157.39	5	163.75	0
9月	175	89.3	187	106.9	181.78	0	188.21	0
10月	190	93.1	204	107.4	186.81	0	195.25	0
11月	189	73.8	208	110.1	181.61	0	196.06	0
12月	199	73.2	226	113.6	190.07	0	214.86	0
1月	155	75.2	157	101.3	142.03	18	150.61	10
2月	190	69.9	193	101.6	181.34	0	191.07	0
3月	181	67.8	183	101.1	169.85	0	179.24	0
平均	186	90.7	184	98.9	163	—	162	—

資料：全農「畜産販売部情報」

注1：卸売価格は消費税を含まない。

注2：鶏卵価格安定制度の平均欄は補てん基準価格